

Ver.34

基準:各年10月1日現在 総人口 New! 出典:H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島 県の推計人口 (前年比:%) (X) ◯◯◯ 人口数 —◆— 増減率 ◎前年比 ◎震災前比 2500000 -1.0% H30=91.8 2,029,064 1862705 2000000 -0.5 21年連続減 (H22=100.0)1500000 -1 ○国勢調査の結果(平成22年と平成27年)を比較すると 1000000 -1.5 5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。 500000 ○平成31年4月1日時点の推計人口は1,848,618人と -2 なった。 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 基準:各年1月1日から12月31日までの計 人口の移動状況(社会動態) New! 出典: 県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」 40,000 一 転出 ┓ 転示 入 ◎対前年増減数 ◎対震災前増減数 20,000 H29増減数 -7,408人 H30増減数 -6,513人 H22増減数 -6,627人 H30増減数 -6,513人 ↑転入 0 20,000 3年振り転出超過縮小 ○平成24年以降は転出超過の縮小が続き、平成28年 40,000 からは2年連続で転出超過が拡大していたが、平 60,000 成30年に転出超過が縮小に転じた。 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 基進·年 3 合計特殊出生率 出典:厚生労働省「人口動態統計月報年計(概数)」 (合計特殊出生率) ◎前年比 ◎震災前比 1.57 1.60 -0. 02ポイント +0. 05ポイント 1.50 (H22=1.52)2年振り減 1.43 1.40 ○本県の合計特殊出生率は震災以降、平成24年までは 下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の 1.39 1.30 水準へ回復している。 ○平成29年は前年から0.02ポイント下降し、2年振りの 1.20 減少となったが、全国を上回って推移している。 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 基準:年度 地域別最低賃金 出典:厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」 (円) ※時給 (前年度比:%) ◎前年度比 ◎震災前比 800 +3.2% H29=117. 5 750 3 15年連続増 (H22=100.0)700 2 ○本県の平成30年度の最低賃金改定額は前年度 657 から24円上昇し、772円となった。 ○現在の表示方式となった平成14年度以降で最大 650 1 600 の引上げ幅となったが、全国加重平均額である 874円は下回っている。 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 基準:年度 学校給食の地場産物活用状況 5 出典:県健康教育課「学校給食における地場産物の活用状況調査結果」 ※平成23年度は東日本大震災の影響により福島県での調査未実施 (%) ◎前年度比 ◎震災前比 50.00 40.8 36.1 +5. 2ポイント H30=113. 0 40.00 6年連続増 (H22=100, 0)30.00 ○本県の学校給食における地場産物の活用割合は、 20.00 6年連続で増加している。 10.00 ○平成30年度については、震災前の水準を上回る 0.00 40.8%となった。 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30

10の指標にみる福島県のいま Ver.34

〈変化方向について〉 禄:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。
基準:各年1月1日現在

6 地価(住宅地) New! 出典:国土交通省「地価公示」 (円) → 福島市 — 会津若松市 — 郡山市 — いわき市 ◎前年比(福島市) ◎震災前比(福島市) 53,900 52,800 55000 +2.6% H31=96. 9 48,100 46,600 6年連続増 (H22=100.0)45000 40,100 43,400 ○平成26年以降、6年連続で前年を上回っており、 35000 ゆるやかな上昇傾向にある。 38,100 ○福島市については、前年から1,200円の上昇。 33,300 25000 平成25年から累計7,600円上昇している。 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 7 福島空港利用状況 New! 出典:県空港交流課「福島空港利用状況」 (便数) (X) ◎前年度比 ◎震災前比 🚃 国内線 🚾 ■ 国際線 - ター 便 300,000 267.356 286,375 +3.0% H30=93.4 229 🕳 2年連続増 (H22=100.0)200 ○平成30年度の国内線と国際線の合計搭乗者 250,000 104 数は、震災後としては過去最高となり、 前年 100 度に比べ3.0%上昇した。 ○平成30年度のチャーター便数は、過去最高 200,000 となり、前年度に比べ34.7%上昇した。 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 基準:各年1月1日から12月31日までの計 8 工場立地届出件数 New! 出典:福島県企業立地課業務資料(敷地面積1,000㎡以上) (件) □工場立地件数 ◎前年比 ◎震災前比 120 +1.3% H30=181. 0 100 76 2年連続増 (H22=100, 0)80 ○平成30年の立地件数は76件で、前年に比べ1件 42 60 増加し、2年連続の増加となった。 40 20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 9 外国人宿泊者数 出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」 (人泊) ◎前年比 ◎震災前比 130300 150000 +65. 2% H29=149.5 6年連続増 (H22=100.0)87170 100000 ○本県における外国人宿泊者数は、震災後以降、 6年連続で増加している。 50000 ○平成29年については、震災後初めて、震災前の 水準を上回る130,300人泊となった。 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 10 教育旅行宿泊延べ人数 基準:年度 出典: 県観光交流課「福島県教育旅行入込調査報告書」 (人泊) ■延べ宿泊者数 ◎前年比 ◎震災前比 800000 709932 12. 1% H29=68.8 488298 600000 6年連続増 (H21=100.0)○平成29年度の教育旅行宿泊延べ人数は、 400000 488,298人泊であり、6年連続の増加となった。 200000 ○近年は、観光入込数とともに教育旅行宿泊延べ 人数が回復傾向にあり、今後さらなる伸びを 期待したい。 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。